|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | 小児看護学概論 | 単位数 | １単位 | 時間数 | 30時間 |
| 担 当 者 | 治郎丸　倫子(臨床経験10年) | 学　年 | １学年 | 開講年次 | ２学期 |
| 目的 | 子どもの成長・発達の特徴を理解し、健全な成長・発達を促すための関わり方について学ぶ。また、子どもを取り巻く保健・医療・福祉について学ぶ。 |
| 科目目標 | 1. 子どもと家族の概況・倫理的観点を知り、小児看護の役割と課題を理解する

２．子どもの成長・発達の基本的な原則を理解する。３．各発達段階に応じた子どもの成長・発達を理解する。４．子どもと家族を取り巻く環境や社会を理解する。 |
| 回数 | 授業計画・授業内容 | 方法 |
| 1回～2回3回4回～10回11回12回13回14回15回 | １．小児看護の特徴と理念１）小児医療・看護の変遷と課題２）小児看護の目標と役割３）小児医療・小児看護における倫理２．子どもの成長・発達　１）成長・発達とは　　　　　　２）成長・発達の進み方３）成長・発達に影響する因子　４）成長・発達の評価３．各発達段階の子どもの成長・発達と支援１）形態的特徴と身体生理の特徴、各機能の発達２）知的発達と心理社会的適応に対する問題と支援方法４．家族の特徴と家族アセスメント　１）家族とは ２）現代家族の特徴 ３）家族アセスメント５．子どもと家族を取り巻く環境と入院環境１）児童福祉 ２）母子保健　３）医療費の支援　４）予防接種　５）学校保健　　６）食育　７）特別支援教育　　８）臓器移植法６．まとめ・終了試験（45分） | 講義講義講義　グループワーク演習講義講義 |
| 准看時授業内容 | 母子看護、人間と生活・社会、栄養、保健医療福祉の仕組み、看護と法律 |
| 教科書参考書 | 教科書：『系統看護学講座　専門分野　小児看護学〔1〕小児看護学概論　小児臨床看護総論』 医学書院参考書：『国民衛生の動向』 財団法人厚生統計協会 |
| 評価方法 | 筆記試験 |
| 関連科目 | 心理学、人間関係論、看護倫理、社会福祉、公衆衛生、母性看護学概論 |
| 備考 | 小児看護の対象である子どもについて理解を深めましょう。子どもを取り巻く環境として、現代家族・社会の状況を学習します。子どもに関する施策や多発する事故について関心を持ち、新聞記事やニュースを見て下さい。 |